



東京PCB廃棄物処理事業だより (No.19)

東京PCB廃棄物処理施設の運転状況について

当処理施設の平成21年7月～9月の処理実績は下表のとおりです。現在高濃度PCB廃棄物、低濃度PCB廃棄物とも安全に処理が進んでいます。

高濃度・低濃度区分	廃棄物種類	7月～9月 処理台数	操業開始からの 処理累計
高濃度PCB廃棄物	トランス類	98台	573台
	コンデンサ類	967台	5,300台
低濃度PCB廃棄物	柱上トランス絶縁油	530.1kℓ	5,162.2kℓ

*高濃度PCB廃棄物については処理に着手した台数を処理台数としています。

*連結コンデンサは内部に複数のコンデンサがあった場合も、1台としてカウントしています。

*東京事業所に係る安定器等の受入については、現在停止しております。

PCB収集運搬業者安全協議会総会が開催されました。

平成21年8月19日に当処理施設が入門許可を出しているPCB収集運搬業者(全31社/会長：松田産業株式会社)で構成される「PCB収集運搬業者安全協議会総会」が開催されました。

当日はPCB収集運搬業者28社、42名が参加いたしました。

議事の主な内容は以下のとおりです。

- ①安全協議会会則について
- ②収集運搬時事故の際の緊急連絡体制について
- ③日本環境安全事業株式会社に対する要望



総会の開会挨拶をする山崎隆一安全協議会会長(松田産業(株))



東京PCB廃棄物収集運搬業者連絡会の様子

また、総会終了後、同収集運搬業者、東京都及び当処理施設との間で「東京PCB廃棄物処理施設収集運搬業者連絡会」を開催し、東京都及び当処理施設からの連絡事項を伝えました。

その内容は、①当処理施設の操業状況報告、②当処理施設と収集運搬業者間の緊密な相互応援体制の確立の必要性、③行政から今年度及び次年度以降の処理状況、等です。

また、収集運搬業者からは交通事故等による緊急時の受入時間や事故対応訓練等について質問が出されました。

今後も年1度の頻度で「PCB収集運搬業者安全協議会総会」及び「東京PCB廃棄物処理施設収集運搬業者連絡会」を開催する予定です。収集運搬業者と当処理施設でより安全で安心な収集運搬を行えるように連携していきたいと考えております。

決意新たに下期運営方針の共有化を図りました。

今年度の折り返しを迎え、下期初日である10月1日に『東京PCB廃棄物処理施設下期運営方針説明会』を行いました。

これには当社のみならず、TEE、TEOの3社が参加し、下期運営方針を確認・共有化を図ることで、当処理施設が安全・安定に操業できるよう3社協力して当たることを改めて確認いたしました。

TEE：東電環境エンジニアリング(株)、TEO：東京環境オペレーション(株) 2社とも当施設でPCB処理作業に当たる運転委託会社



下期運営方針説明の様子

ISO14001取得に向けて

東京PCB廃棄物処理施設では、ISO14001（環境マネジメントシステム）の認証を来年5月に取得する計画で、今年4月1日に下記の「環境安全方針」を作成し、現在システム運用を実施しています。

日本環境安全事業株式会社 東京事業所 環境安全方針

日本環境安全事業株式会社（JESCO）東京事業所は、埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県に保管されているポリ塩化ビフェニル（PCB）廃棄物の処理を事業の主体として設立された国の環境施策を実行する事業者です。

事業の実施にあたっては、JESCOの基本理念と行動指針及び環境安全方針をもとに、安全で確実な処理事業を着実に遂行し積極的な情報公開により社会からの信頼に応え、また地球環境の保全に貢献します。

1. 環境保全と安全確保を優先し、埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県に保管されているPCB廃棄物の適正な処理を実施します。
2. 「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」をはじめとして、当事業所の環境側面に関係する法的要求事項及び自治体との協定等その他の要求事項を順守します。
3. 環境マネジメントシステムを構築し継続的に改善するとともに、事業活動により排出される排気、排水、廃棄物等が環境に悪影響を与えないよう適正な管理を行ない、環境汚染の未然防止をはかります。
4. 環境に負荷を与える化学物質の排出削減や省エネルギー、省資源・リサイクル等の環境活動について、環境安全目的及び目標を設定し定期的に見直しを行なうことにより環境への負荷低減をはかります。
5. 東京事業所に従事する作業員の安全確保のために、無事故・無災害の達成に努めるとともに、作業環境の改善をはかります。
6. 環境保全活動に関わる情報を積極的に公開し、関係者の理解と信頼の確保に努めます。

ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会 東京事業部会を開催しました。

平成21年9月28日に東京事業部会（主査：永田勝也早稲田大学教授）を開催しました。

東京PCB廃棄物処理施設の上半期（4月～9月）の操業状況や排出源モニタリング、敷地境界大気等の測定結果を報告しました。敷地境界大気等の測定結果は以下のとおりであり、問題ない結果でした。

各委員からは今期分のみならず、長期間のデータを検討材料として必要な対策等を進めるべきなどの助言をいただきました。



東京事業部会の様子

敷地境界の大気測定結果

測定箇所	測定項目	測定日	測定値	環境基準値	測定頻度
南東端	PCB	8月11日	0.00005 mg/m ³ /未満	0.0005 mg/m ³	年1回
	DXNs	8月11日	0.022 pg-TEQ/m ³	0.6 pg-TEQ/m ³	年1回
北西端	PCB	8月11日	0.00005 mg/m ³ 未満	0.0005 mg/m ³	年1回
	DXNs	8月11日	0.025 pg-TEQ/m ³	0.6 pg-TEQ/m ³	年1回



日本環境安全事業株式会社 東京事業所

〒135-0064 江東区青海二丁目地先（中央防波堤内側埋立地内）※

TEL 03-3599-6023

<http://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>

【※11/1より、住所表示が「江東区青梅三丁目地先（中央防波堤内側埋立地内）」に変更になります。】